



SHOFU

BUSINESS  
REPORT

# 第131期 事業報告書

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

## 株主のみなさまへ



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第131期（平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、その概況につきましてご報告申し上げます。

なお、当社は平成14年5月15日に創立80周年を迎えることができました。株主のみなさまのご支援、ご指導に感謝申し上げますとともに、今後とも倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

取締役社長 太田勝也

## 営業の概況

### （1）営業の経過及び成果

当期のわが国経済は、輸出は比較的堅調であったものの、デフレ経済が進行するなかで、日経平均株価がバブル崩壊後の最安値を更新する一方、海外におきましてはイラク戦争が勃発する等、景気の不透明感・停滞感を払拭できぬまま、全体として厳しい状況で推移いたしました。

当歯科業界におきましても、こうした経済環境の影響を受けるとともに、医療費抑制策の影響等もあり、厳しい経営環境が継続する状況となりました。

このような状況の下で、当社は、当期が創立80周年に当たる記念すべき期であり、次の10年の成長を目指して飛躍するためのチャンスであるととらえ、業績の向上に向け、「変化する松風 - 進化する情熱」をスローガンに、全社一丸となって果敢な挑戦を続

けてまいりました。

米国ノリアン社との間で共同開発を進めております「骨セメント」の歯科領域分野における応用研究も米国内において臨床試験を開始し、国内においても治験を開始する体制が整いました。

一方、海外におきましては、今後の中国市場開拓の基盤作りを着実に進めるために、上海に続き、北京に第二の駐在員事務所を設置いたしました。また、欧州地域においては、新人工歯「ベラシア」の紹介をする等、来期に向けた基盤作りに努めてまいりました。

営業面におきましては、世界で初めてナノテクノロジー（1ナノ＝1ミクロンの1/1000）を応用した最高級人工歯「NCベラシア」や操作が簡単で高い接着強度及び接着耐久性をもつ新しい接着システムとして、すべての金

属に対応した金属接着性プライマー(表面処理材)「メタルリンク」とセラミックス・レジンを接着用ボンディング材「セラレジソンド」等を新たに市場投入いたしました。

その他、研削材類と歯科用レーザ装置「ネオキュア7200」の売上高も、比較的好調に推移いたしました。

こうした新製品の投入と懸命な営業努力が功を奏したこともあって、当業界を取り巻く厳しい環境下にも関わらず、国内売上高は、111億10百万円と前期に比べ、1億26百万円(1.2%)増加いたしました。

一方、輸出につきましては、アジア地域において陶材、研削材の販売に注力するとともに、韓国を中心に新人工歯「リベラ」を市場投入する等、グローバルな営業活動をより積極的に展開いたしました。

その結果、欧州地域における円安の影響もあり、16億3百万円と前期に比べ1億72百万円(12.1%)増加し、過去最高の売上げを計上することができ、当期の売上高は、127億14百万円と前期に比べ、2億98百万円(2.4%)増加いたしました。

損益状況につきましては、国内売上げの増加及び徹底した経費の削減に努めたことにより、営業利益は、8億15百万円と前期に比べ、76百万円(10.3%)の増加となりました。

経常利益につきましては、金型償却費用の増加等もあり7億21百万円と前期に比べ29百万円(3.9%)の減少となりました。

当期利益は、経常利益の減少と期末株価の大幅な下落による保有株式の減損処理を行った結果、2億21百万円と前期に比べ、72百万円(24.6%)の減益となりました。

なお、当期の株主配当金は、株主各位の日頃のご支援にお応えするため、1株につき10円の普通配当に、当社創立80周年記念配当2円を加え、1株につき12円(中間配当金を加えまして1株につき年20円)とさせていただきます。

その他、より一層の環境保全を図るため、本社・工場部門における認証取得に続き、支社及び各営業所でも環境管理システムISO14001認証取得に向けた活動を展開してまいりました。

## (2) 品種別営業の状況

人工歯類、セメント類等は国内の厳しい競争のなかで売上げは、やや減少いたしました。が、機械器具や研削材類、化工品類については増加いたしました。

その結果、売上げ全体としては前期に比べ増加いたしました。

## (3) 設備投資及び資金調達の状況

当期中に実施いたしました設備投資は、89百万円であります。その主なものは、機械装置、金型の取得等であります。

これらの設備投資に必要な資金は、すべて自己資金で賄いました。

#### (4) 営業の成績及び財産の状況の推移

区 分	期 別	第128期	第129期	第130期	第131期(当期)
		平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売 上 高(千円)		12 652 081	12 599 456	12 415 737	12 714 711
経 常 利 益(千円)		1 373 162	837 741	750 444	721 148
当 期 利 益(千円)		691 065	387 429	294 519	221 931
1株当たり当期利益		64円33銭	36円6銭	27円42銭	20円77銭
総 資 産(千円)		21 230 802	20 725 531	20 043 710	19 852 016
純 資 産(千円)		14 797 481	15 021 782	15 074 389	14 975 648

(注) 1株当たり当期利益については以下のとおりであります。

第129期まで期中平均発行済株式総数に基づき算出しております1株当たり当期利益は、第130期より期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数に基づき算出しております。

第131期(当期)より1株当たり当期利益の算定にあたっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

#### (5) 会社に対処すべき課題

今後の経済情勢につきましては、国内・外ともに、ますます不透明感が増大し、さらに厳しい経済環境が続くものと予想されます。

当業界におきましても、こうした経済状況の混迷に加え、医療保険制度の改定に伴う医療費の本人3割負担等の新たな影響もあり、ますます厳しい状況になるものと思われまます。

このような状況の下で当社は、「品質競争力」や「コスト競争力」に優れた、常温重合レジン「プロピナイス」や、よりグレードアップした歯冠用硬質レジン等の新製品を市場投入し、この困難な環境を乗り越けてまいります。

また、本社・工場部門に続き、支社及び

各営業所を含めた、松風全社において、環境管理システムISO14001を認証取得すべく活動を展開してまいります。

株主のみならずにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

## 会社の概況(平成15年3月31日現在)

### (1) 主な事業内容

当社は、歯科材料及び歯科用機器の製造・販売を主な事業としており、主要製品は次のとおりであります。

品 種 別	主 要 製 品
人 工 歯 類	陶歯、歯科用陶材、硬質レジン歯
研 削 材 類	歯科用研削材、歯科用研磨材
金 属 類	歯科用金属
化 工 品 類	歯科用合成樹脂、歯科用印象材、歯科用ワックス
セメント類他	歯科用セメント、歯科用石膏、歯科用耐火埋没材
機械器具その他	歯科用機器、歯内療法用器具、歯科用矯正材料、変色歯漂白剤、感染予防製品

### (2) 従業員の状況

区 分	従業員数(名)	前期末比増減	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
男	322	2名減	43.05	19.58
女	103	1名増	41.22	20.84
計	425	1名減	42.61	19.89

(注) 上記の従業員数には、使用人兼務取締役(3名)、シンガポール分室(7名)、上海代表処(1名)、北京代表処(4名)、嘱託(2名)、臨時従業員(47名)、出向者(4名)は含んでおりません。

### (3) 主要な借入先

借 入 先	借入額(百万円)	借入先が所有する当社の株式	
		持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社 京 都 銀 行	860	510	4.93
株式会社 三井住友銀行	330	363	3.51

## 株式の状況(平成15年3月31日現在)

- (1) 会社が発行する株式の総数 22 000 000株  
 (2) 発行済株式総数 10 742 726株  
 (3) 議決権総数 10 347個  
 (4) 株主数 1 870名(前期末比186名減)  
 (5) 大株主

株 主 名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)	持株数(千株)	議決権比率(%)
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	575	5.56	-	-
株 式 会 社 京 都 銀 行	510	4.93	287	0.09
日本生命保険相互会社	478	4.62	-	-
モルガン・スタンレー アンド カンパニー インク	460	4.45	-	-
松 風 慎 一	386	3.73	-	-
株式会社 三井住友銀行	363	3.51	-	-
住友信託銀行株式会社	363	3.51	177	0.01
松 風 定 二	315	3.04	-	-
松 風 社 員 持 株 会	297	2.87	-	-
株 式 会 社 滋 賀 銀 行	281	2.72	191	0.08

(注) 当社が保有する株式会社三井住友銀行の株式は、株式移転により、同社の完全親会社である株式会社三井住友フィナンシャルグループの株式173株(議決権比率0.00%)となっております。

## (6) 自己株式の取得、処分等及び保有

### 1. 取得株式

商法第210条第1項の決議による取得

普通株式 131,000株

取得価額の総額 93,010,000円

単元未満株式の買取りによる取得

普通株式 36,276株

取得価額の総額 25,241,950円

### 2. 処分株式

該当事項はありません。

### 3. 失効手続をした株式

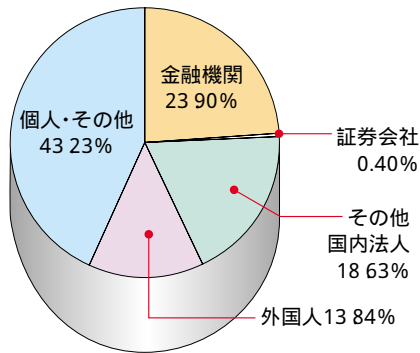
該当事項はありません。

### 4. 決算期における保有株式

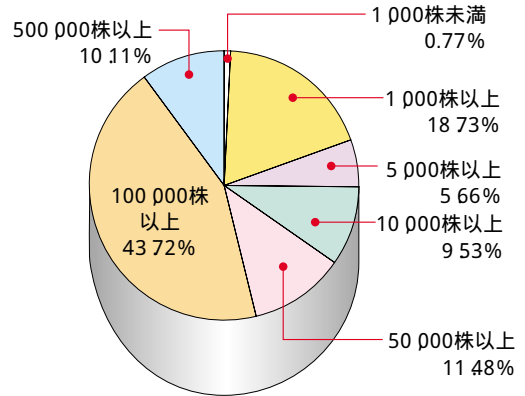
普通株式 171,030株

## (7) 株式の分布

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



貸借対照表(平成15年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<u>流動資産</u>	11 450 163	<u>流動負債</u>	3 255 765
現金及び預金	5 635 210	支払手形	314 971
受取手形	1 008 947	買掛金	424 995
売掛金	1 653 161	短期借入金	1 560 000
有価証券	550 106	未払金	175 734
商品	1 037 548	未払費用	607 348
製品	387 254	未払法人税等	52 000
原材料	104 980	未払消費税等	52 693
仕掛品	536 979	預り金	20 253
貯蔵品	283 464	前受収益	35 257
前払費用	80 731	設備建設関係支払手形	9 330
繰延税金資産	284 392	その他の流動負債	3 180
その他の流動資産	76 685		
貸倒引当金	189 300	<u>固定負債</u>	1 620 602
<u>固定資産</u>	8 401 852	退職給付引当金	600 182
有形固定資産	2 913 246	役員退職慰労引当金	557 680
建物	1 956 433	預り保証金	382 430
構築物	168 221	その他の固定負債	80 310
機械装置	371 113		
車両	2 802	<u>負債合計</u>	4 876 368
器具備品	224 853		
土地	180 917	<u>資本の部</u>	
建設仮勘定	8 902	科目	金額
無形固定資産	65 536	<u>資本金</u>	4 474 646
営業権	2 164	<u>資本剰余金</u>	4 576 703
特許権	4 382	資本準備金	4 576 703
ソフトウェア	52 774	<u>利益剰余金</u>	6 037 512
その他の無形固定資産	6 214	利益準備金	1 118 661
投資等	5 423 069	任意積立金	1 020 788
投資有価証券	2 833 033	配当準備金	260 000
子会社株式	1 060 616	固定資産圧縮積立金	15 496
出資金	101 079	特別償却準備金	5 291
長期貸付金	348 163	別途積立金	740 000
破産債権	39 887	当期末処分利益	3 898 062
長期前払費用	6 910	(うち当期利益)	(221 931)
繰延税金資産	663 194	<u>株式等評価差額金</u>	7 520
差入保証金	185 871		
役員退職年金掛金	227 331	<u>自己株式</u>	120 735
その他の投資	21 268		
貸倒引当金	64 287	<u>資本合計</u>	14 975 648
<u>資産合計</u>	19 852 016	<u>負債及び資本合計</u>	19 852 016



# 損益計算書(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	内 訳	金 額
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益		12,714,711
売上高		
営業費用		
売上原価	6,828,962	
販売費及び一般管理費	5,070,596	11,899,559
営業利益		815,151
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息・配当金	88,810	
会費収入	67,650	
受取賃貸料	50,880	
雑収入	62,741	270,082
営業外費用		
支払利息	24,709	
売上割引	101,663	
当社主催会費用	126,367	
賃貸資産関連費用	77,751	
雑損失	33,593	364,085
経常利益		721,148
(特別損益の部)		
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入益	220	220
特別損失		
株式評価損	276,639	
会員権評価損	4,300	280,939
税引前当期利益		440,429
法人税、住民税及び事業税	200,177	
法人税等調整額	18,320	218,497
当期利益		221,931
前期繰越利益		3,761,971
中間配当額		85,840
当期末処分利益		3,898,062

### (貸借対照表注記)

1. 当営業年度から「商法施行規則」(平成14年3月29日 法務省令第22号)に基づいて計算書類を作成しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 5 785 001千円
3. 子会社に対する金銭債権・債務

短期金銭債権	168 820千円
長期金銭債権	323 696千円
短期金銭債務	113 841千円
4. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、電子計算機及び周辺機器並びに営業用車両等につきましては、リース契約により使用しております。
5. 重要な外貨建の資産・負債

現金及び預金	275 781千円 (1,113千米ドルほか)
売掛金	156,136千円 (981千ユーロほか)
子会社株式	644,081千円 (1,593千米ドルほか)
長期貸付金	73,696千円 (389千英ポンド)
買掛金	84,947千円 (432千スイスフランほか)
6. 役員退職慰労引当金は、商法第287条の2に規定する引当金に該当いたします。
7. 商法第290条第1項6号に規定する純資産額は7,520千円であります。
8. 1株当たりの当期利益 20円77銭  
1株当たり当期利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

損益計算書上の当期利益	221,931千円
普通株式に帰属しない金額	
利益処分による役員賞与金	- 千円
普通株式に係る当期利益	221,931千円
普通株式の期中平均株式数	10,683,475株
9. 外形標準課税導入に係る税効果会計の取扱い  
「地方税法等の一部を改正する法律」による税率変更に伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率を前期までの41.94%から、当期は流動区分については41.94%、固定区分については40.38%に変更しております。この結果、繰延税金資産(固定資産)×繰延税金負債(固定負債)の金額を控除した金額)は25,816千円減少しております。

### (損益計算書注記)

1. 子会社との取引高

売上高	814,679千円
仕入高	1,724,998千円
営業取引以外の取引高	216,917千円
2. 販売費及び一般管理費に含まれている研究開発費は979,969千円であります。

## 重要な会計方針

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- (1) 満期保有目的債券.....償却原価法(定額法)
- (2) 子会社株式及び関連会社株式.....移動平均法による原価法
- (3) その他有価証券

時価のあるもの.....	期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)
時価のないもの.....	移動平均法による原価法

## 2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商 品	} 先入先出法による原価法
製 品	
原 材 料	
仕 掛 品	
貯 蔵 品	

## 3. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産.....定率法
- (2) 無形固定資産.....定額法  
但し、ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間に基づく定額法
- (3) 長期前払費用.....定額法

## 4. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金  
売上債権、貸付金等の債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しております。
- (2) 退職給付引当金  
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。  
会計基準変更時差異(1796402千円)については、7年による按分額を費用処理しております。  
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。
- (3) 役員退職慰労引当金  
役員の退職慰労金の支出に備えるため、規程に基づく期末要支給額全額を引当計上しております。

## 5. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。

## 6. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理については、税抜方式によっております。

## 7. 自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準

当営業年度から「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成14年2月21日 企業会計基準第1号)を適用しております。これによる当営業年度の損益に与える影響は軽微であります。

## 8. 1株当たり当期純利益に関する会計基準等

当営業年度から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。なお、当営業年度において従来と同様の方法によった場合の「1株当たり当期利益」は20円77銭となります。

## 利益処分

当期末処分利益		3,898,062,401円
任意積立金取崩額		1,408,419円
固定資産圧縮積立金	156,572円	
特別償却準備金	1,251,847円	
合                    計		3,899,470,820円

これを次のとおり処分いたします。

利益処分額	126,860,352円
-------	--------------

株主配当金	126,860,352円
-------	--------------

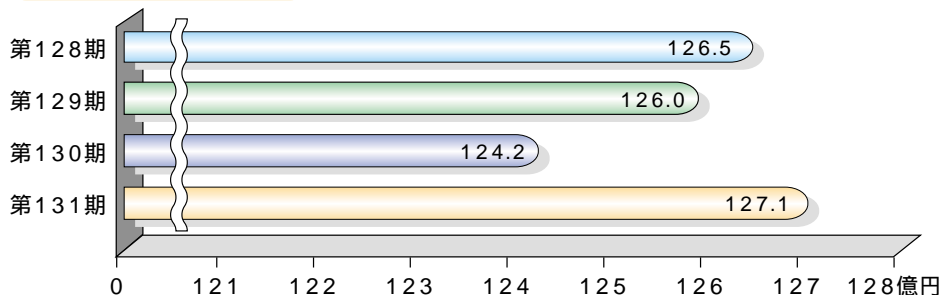
(普通配当1株につき10円)

(創立80周年記念配当1株につき2円)

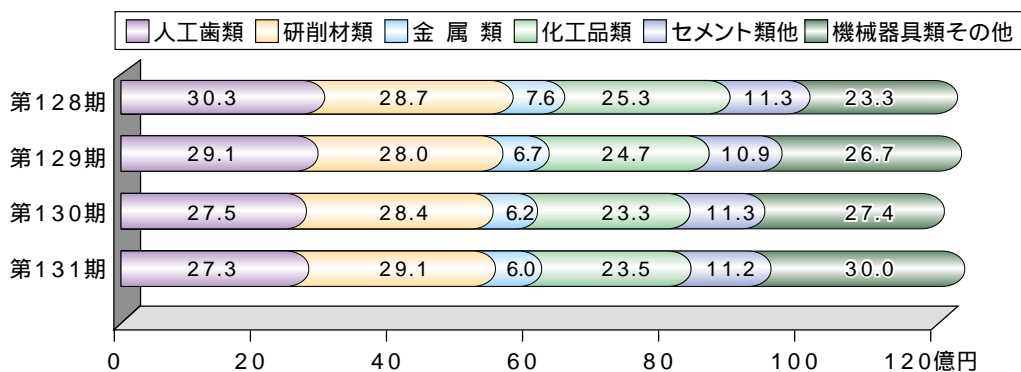
次期繰越利益	3,772,610,468円
--------	----------------

(注) 平成14年9月30日現在の株主に対し平成14年12月10日に85,840,896円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。

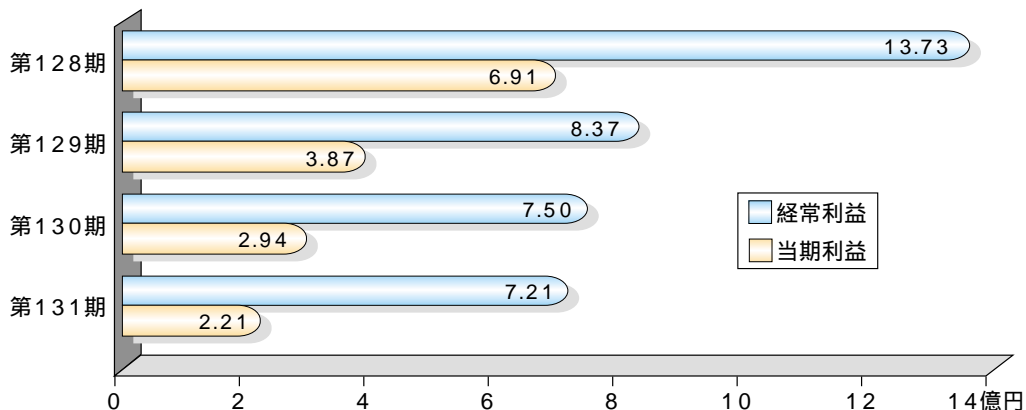
### 売上高の推移(単体)



### 品種別売上高の推移(単体)



### 経常利益・当期利益の推移(単体)



## (連結)貸借対照表(平成15年3月31日現在)

(単位:千円)

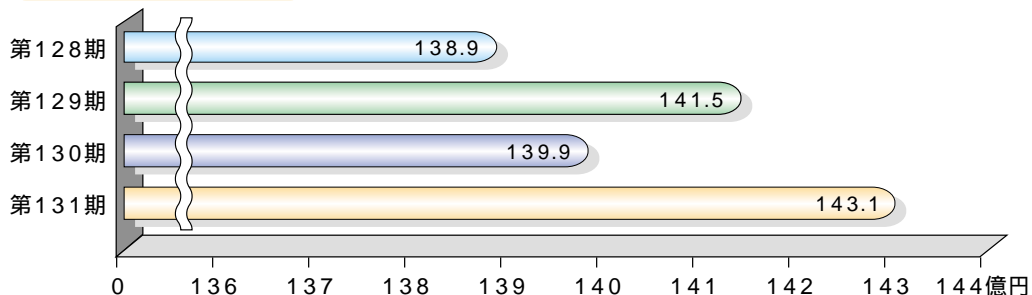
資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<u>流 動 資 産</u>	13,556,851	<u>流 動 負 債</u>	3,589,191
現金及び預金	6,882,636	支払手形及び買掛金	785,736
受取手形及び売掛金	2,836,817	短期借入金	1,582,000
有価証券	550,106	未払法人税等	140,996
棚卸資産	2,900,035	その他	1,080,459
繰延税金資産	366,856		
その他	212,965	<u>固 定 負 債</u>	1,803,793
貸倒引当金	192,564	退職給付引当金	661,211
		役員退職慰労引当金	565,400
		その他	577,182
		<u>負 債 合 計</u>	5,392,985
		<u>少 数 株 主 持 分</u>	114,422
<u>固 定 資 産</u>	8,135,638	<u>資 本 の 部</u>	
有形固定資産	4,113,987	科 目	金 額
建物及び構築物	2,637,666	<u>資 本 金</u>	4,474,646
機械装置及び運搬具	555,643	<u>資 本 剰 余 金</u>	4,576,703
土地	553,444	<u>利 益 剰 余 金</u>	7,305,133
建設仮勘定	14,037	<u>そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金</u>	7,520
その他	353,196	<u>為 替 換 算 調 整 勘 定</u>	58,185
無形固定資産	72,022	<u>自 己 株 式</u>	120,735
投資その他の資産	3,949,628	<u>資 本 合 計</u>	16,185,083
投資有価証券	2,850,111	<u>負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計</u>	21,692,490
繰延税金資産	513,515		
その他	628,208		
貸倒引当金	42,207		
<u>資 産 合 計</u>	21,692,490		

(連結)損益計算書(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

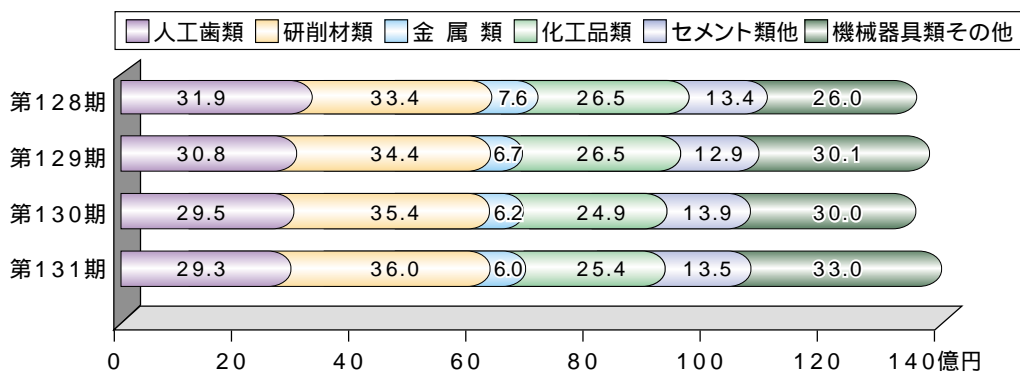
(単位:千円)

科 目	内 訳	金 額
売 上 高		14 314 831
売 上 原 価		6 866 929
売 上 総 利 益		7 447 901
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		6 264 007
営 業 利 益		1,183,894
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	31 827	
受 取 配 当 金	20 196	
会 費 収 入	69 200	
保 険 収 入	3 730	
雑 収 入	46 585	171 540
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	26 240	
売 上 割 引	101 663	
当 社 主 催 会 費 用	135 776	
賃 貸 資 産 関 連 費 用	42 492	
雑 損 失	63 572	369 745
経 常 利 益		985 689
特 別 利 益		
役員退職慰労引当金戻入益	220	220
特 別 損 失		
株 式 評 価 損	276 639	
会 員 権 評 価 損	4 300	
保 険 掛 金 評 価 損	5 457	286 396
税金等調整前当期純利益		699 513
法人税、住民税及び事業税	312 269	
法人税等調整額	37 695	349 965
少 数 株 主 利 益		18 183
当 期 純 利 益		331 364

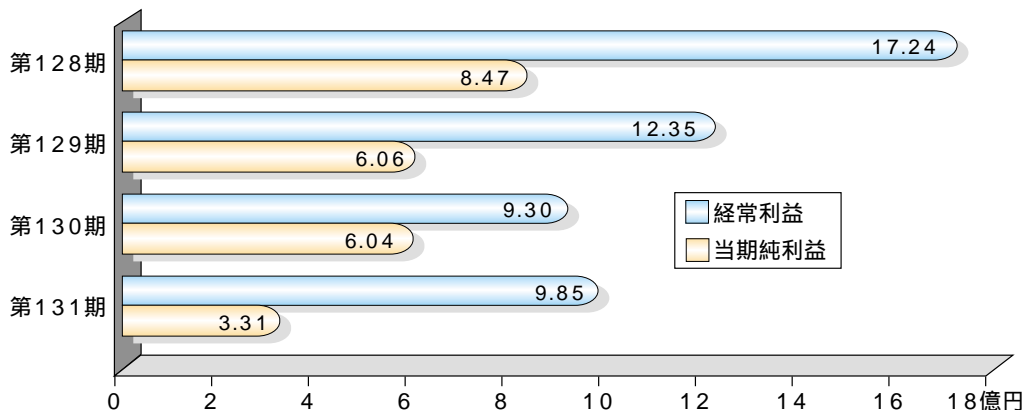
## 売上高の推移(連結)



## 品種別売上高の推移(連結)



## 経常利益・当期純利益の推移(連結)





## 新製品

### 硬質レジン歯

#### 「NCベラシア」(健保適用品)

昨年9月より、新人工歯「NCベラシア」を発売いたしました。

本製品は、従来不可能とされていたナノ(1ミクロンの1/1000)サイズの無機超微粒子を、マトリックスレジンの中に凝集させずに均一に分散させたナノコンポジットレジンの主成分とする新しい概念の材料です。

生体との調和を目指し、機能(咀嚼能率、発音、食物の流れ)と美しさ(天然歯に似た形状や色)を融合した、優れた人工歯です。



### 北京駐在員事務所

#### 「株式会社松風北京代表処」開設

1996年に設立された上海代表処に次ぐ、当社の中国国内における第2の活動拠点として、昨年11月に、北京市、天津市等、中国東北部地区での販売促進活動を展開すべく、北京駐在員事務所「株式会社松風北京代表処」を開設いたしました。ますます増大する中国の歯科医療のニーズに対応し、同国の歯科医療発展に貢献してまいり所存であります。



所在 北京市西城区西直門外大街135号

## 株主様ご優待のご案内

当社では、日頃の株主のみなさまのご愛顧にお応えするため、株主様ご優待を実施いたします。平成15年3月31日現在当社株式をご所有のすべての株主様に、下記

の当社取扱製品を特別価格にて販売いたします。ご購入の際には、次頁申込みハガキに必要事項をご記入のうえ、お切り取りいただき、お申し込みください。

### 株主様ご優待対象商品

#### A. 入れ歯洗浄剤「ピカ」

優待価格 2,880円(定価:4,200円)

株主お1人様に対し2箱(6個入り/箱)まで

入れ歯の汚れの主体となるカンジダ菌を、真菌溶解酵素により溶解除去することにより、入れ歯装着による疾病を予防し、快適な口腔環境を保持できるすぐれた入れ歯洗浄剤です。



#### B. 薬用液体ハミガキ「ハピカエース」

優待価格 2,400円(定価:4,800円)

株主お1人様に対し4箱(6個入り/箱)まで

歯周炎や歯肉炎並びに虫歯の予防に効果がある薬用液体ハミガキです。



C. 家庭用歯垢除去器具「インターブラーク  
IP - 300」専用交換ブラシヘッド  
優待価格 1500円 (定価 :3000円)  
株主お1人様に対し3本まで

\*商品の送料は、当社で負担させていただきます。  
いずれも、消費税は別となっております。  
詳しくは、同封のパフレットをご参照ください。

「インターブラーク」専用のブラシヘッドです。

本ブラシヘッドは、以前に、当社の株主優待制度により、家庭用歯垢除去器具「インターブラークIP - 300」をお買い求めいただいた株主様が、ブラシヘッドの交換のためにお買い求めいただくものです。

(切取線)

## 株主様ご優待 お申込書

住 所	〒
名 前	ふりがな 様
電話番号	( ) -
注 文 数	A. 入れ歯洗浄剤「ピカ」 箱
	B. 薬用液体ハミガキ「ハピカエース」 箱
	C. 「インターブラーク」専用交換ブラシヘッド 本

お申し込みいただいた株主様には、宅配便又は郵便小包にて商品を配達いたします。商品に請求書及び郵便振替払込通知書を同封いたしますので、最寄りの郵便局にてお代金をお支払いください。

お申し込み締切日 平成15年8月29日(金)

(切取線)

## お問い合わせ

- (1) 本制度に関するお問い合わせは、**フリーダイヤル0120-981914**(料金不要)株式会社 松風 総務課までお願いします。
- (2) 営業時間は午前 8 時30分から午後 5 時までとなっております。
- (3) 土、日、祝日は誠に勝手ながら休ませていただきます。

## ご注意

- (1) 集計の関係上、お申し込み後お手元に商品をお届けできるのは約 2 週間後となります。
- (2) 優待期間終了後のお取扱いにつきましては、左記フリーダイヤルで直接当社にお問い合わせください。
- (3) 本制度のご利用によるお買い上げ商品につきましては、1 週間を経過した後は、お取り替え、ご返品はお受けいたしかねますので、ご了承ください。

( 切取線 )

郵便はがき

605-8790

105

料金受取人私

局認  
東山承

364

差出有効期間

平成15年 8月

29日まで

( 受取人 )

京都市東山区福稻上高松町11番地

株式会社 松風

総務課 行



( 切取線 )

## 取締役及び監査役(平成15年3月31日現在)

取締役名誉会長	松 風 嘉 定
取締役会長	澤 田 正 昭
取締役社長	太 田 勝 也
専務取締役	橋 本 孝
常務取締役	脇 野 喜 和
常務取締役	梶 浩 行
常務取締役	白波瀬 文 雄
取締役	関 敏 明
取締役	西 野 賢 貴
取締役	和 田 徹
常勤監査役	信 本 暹
監査役	西 田 憲 司
監査役	三 宅 徹
監査役	河 合 正 勝

は代表取締役であります。

## 会社の概要

社 名 株式会社 松 風  
( SHOFU INC. )

事 業 内 容 歯科材料及び歯科用機器の製造・販売

設立年月日 大正11年5月15日

資 本 金 4,474,646,614円

本社・工場 京都市東山区福稲上高松町11番地  
〒605-0983 TEL(075)61-1112(代)

支 社 東 京 支 社 東京都文京区

営 業 所 札幌営業所 札幌市中央区

仙台営業所 仙台市宮城野区

名古屋営業所 名古屋市名東区

大阪営業所 大阪市中央区

福岡営業所 福岡市博多区

インターネット ホームページ URL <http://www.shofu.co.jp>

## 株主メモ

決 算 期	3月31日
株主配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
名 義 書 換 代 理 人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵 便 物 送 付 先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電 話 照 会 先	
(住所変更等用紙のご請求)	0120-175-417
(その他のご紹介)	0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 の 方 法	日本経済新聞に掲載する。ただし、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、 <a href="http://www.shofu.co.jp">http://www.shofu.co.jp</a> において提供する。
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所(市場第二部)



本冊子は、地球環境に優しい再生紙及び大豆インクを使用いたしております